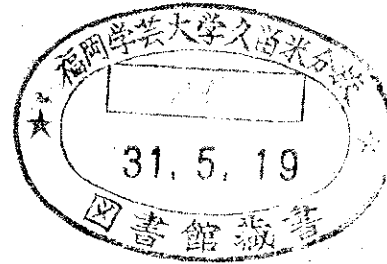


日本小文典  
中根淑著



図書 和図書 通



a 1 3 8 0 3 2 1 2 7 7 a

福岡教育大学蔵書

T1A1  
11  
N 38

明治九年八月上梓

中根淑著

日本小文典

迷花書室藏



ニ 日本文典ヲ著シ、吾ガ國ノ文法ノ論ヲ中  
ニ就キテ疑難アル者ハ、後フテ之ヲ論辯ス、其ノ  
説未必シモ疵瑕無クンバアラスト雖、幸ニ時人  
ノ棄ツル所ト為ラズ、以世ニ行ハル、一ヲ得然  
レ共書中議論甚多ク、之ニ加フルニ、例文槩古書  
ニ由ルヲ以、初學ノ徒、或ハ其ノ解シ易カラザル  
ヲ憂フル者アリ、是ヲ以、今特ニ其ノ煩ナル者ヲ  
棄テ、其ノ簡ナル者ヲ収メ、且今時郷校用フル所  
ノ書類ニ就キテ、其ノ例文ヲ採リ、務メテ其ノ義

ヲシテ、會得シ易カラシム、書成ル、分チテ二卷ト  
ナシ、之ヲ名ケテ日本小文典ト云フ、小學童生先  
此ノ書ニ由リ、文法ノ大綱ヲ領シ、而後其ノ細目  
ヲ求メバ、豈解シ難キノ文法アラシヤ、

明治九年七月

中根淑識ス

日本小文典卷之上

中根淑著ス

○言葉ハ、己ノ思フ事ヲ顯ス為ノ者ニシテ、色々  
ナル聲ヲ、合ハセテ造リタル者ナリ、此ノ聲ノ目  
印ニ用フル者ヲ字ト云ヒ、其ノ字ヲ連子テ、話シ  
ノ如ク書キタル者ヲ文ト云フ、元來言葉ニハ、夫  
々振リタル順アリテ、話シトナルヲ故、其ノ順ヲ  
違ハズニ、字ニテ書クヲ文法ト云フ、故ニ此ノ文  
法ハ、己ノ存シ寄リニテ、妄リニ定ムベキニ非ズ



字ノ形ニ違ヒアルノミニテ、讀ミ聲ニ於キテハ、  
 少モ變リタルヲナキナリ、但シ之ヲ伊呂波ト云  
 フ者ハ、其ノ最初ノ三字ヲ採リテ、名ケタルナリ、  
 伊呂波ノ外、別ニ『ン』ノ字アリ、昔ハ唯『ム』ノ字ヲ用  
 ヒタリシガ、後ニハ『ム』ト『ン』ト、自分ル、トトナリ  
 タリ、之ヲ變音ト云フ、此ノ字平假名中假名共ニ  
 『ん』ヲ用ス、  
 『ツ』ハ時ニ由リテ、聲ノ半分ヲ用フルヲアリ、勝  
 テ、ヲ勝『ツ』テト云フガ如シ、是モ亦變音トス、  
 片假名ノ文字ヲ畧シ、二字ヲ合ハセテ、一跡トシ

タル者アリ、即ト『キ』ヲ『片』ト『モ』ヲ『氏』ト『コ』ト『ヲ』ト『シ』テ  
 『メ』ト合ハセタルガ如シ、

五十音

○伊呂波四十七字ヲ、聲ノ都合ニ由リテ、横縦ニ  
 並ベタル者ヲ、五十音ト云フ、其ノ中『イ』『ウ』『エ』ノ三  
 字ヲ、二處ニ用フル故、合ハセテ五十字トナルナ  
 リ、其ノ縦ノ行ヲ縦行ト云ヒ、横ノ行ヲ横行ト云  
 フ、即左ノ如シ、

五十音ノ圖

也 <small>カ</small> 縦行	麻 <small>マ</small> 縦行	波 <small>ハ</small> 縦行	奈 <small>ナ</small> 縦行	多 <small>タ</small> 縦行	佐 <small>サ</small> 縦行	加 <small>カ</small> 縦行	阿 <small>ア</small> 縦行	阿 <small>ア</small> 横行	伊 <small>イ</small> 横行	宇 <small>ウ</small> 横行	衣 <small>エ</small> 横行	於 <small>オ</small> 横行
ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	ア	イ	ウ	エ	オ
イ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	イ	イ	ウ	エ	オ
ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	ウ	ウ	ウ	エ	オ
エ	メ	ヘ	子	テ	セ	ケ	エ	エ	エ	エ	エ	オ
ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	オ	オ	オ	オ	オ

良 <small>ラ</small> 縦行	和 <small>ワ</small> 縦行
ラ	ワ
リ	ヰ
ル	ウ
レ	エ
ロ	ヲ

子母音

○阿縦行アイウエエオノ五ヲ、母音ト云ヒ、其ノ餘  
 ヲ、子音ト云フ、其ノ故ハ、アイウエエオノ五ハ、雜リ  
 ナキ音ニテ、初アト呼ベバ、何時迄引キテモ、ア  
 ノ聲殘ルナリ、イウエエオモ皆斯クノ如シ、其ノ餘  
 ノ音ハ、盡ク雜リタル音ナリ、比ヘバ阿横行ノカ  
カササタタハハママヤヤララワワヲヲエエ長ク引キテ呼ベバ、初アニ

五

出シタル音ハ消エテ、唯アノ音ノミ残ルナリ、伊  
横行ナレバ、イノ音ノミ残り、宇横行ナレバ、ウノ  
音ノミ残り、衣於ノ横行モ、皆斯クノ如シ、故ニ子  
音ハ、母音ニ由リテ生ズル者ト知ルベシ、

右ノ内、ヤ、ユ、ヨ、ト、ワ、ヰ、ヱ、ヲノ七音ハ、母音ヲ二合  
ハセタル音ナリ、即イアヲ誥メテヤ、イウヲ誥メ  
テユ、イオヲ誥メテヨ、ウアヲ誥メテワ、ウイヲ誥  
メテヰ、ウエヲ誥メテヱ、ウオヲ誥メテヲトナル  
ナリ、

前ニ舉ゲタル、五ノ母音ノ外、ヤ、ユ、ヨ、及ヒワノ四

音ハ、時アリテ、母音トナルコトアリ、即シヤ、チ、ユ、リ  
ヲ、ク、ワ、等ノ如シ、尤是ハ漢字ノ音カ、又ハ西洋ヨ  
リ来リタル言葉ナラデハ、無キコトナリ、

濁音

○加佐多波縦行ノ二十音ハ、濁リタル音ニ讀ム  
コトアリ、其ノ時ハ、右ノ肩ニ二ノ小キ點ヲ添ヘテ  
印トス、即ガ、ギ、グ、ゲ、ゴ、ザ、ジ、ズ、ゼ、ゾ、ダ、ヂ、ダ、デ、ド、バ  
ビ、ブ、ボ、等ノ如シ、

半濁音

○波縦行ノ五音ハ、時アリテ唇ヲ彈ク様ニ發ス



ル、ア、リ、是、ヲ、半濁音ト云フ、其ノ時ハ、右ノ肩ニ  
小キ圈ヲ添ヘテ印トス、即、パ、ピ、プ、ベ、ポ等ノ如シ、  
假名遣ヒ

○古キ昔言葉ヲ文字ニ移スニハ、假名ノ遣ヒ方、  
明ニ分チアリシトナリ、追ヒ々々年ヲ経ルニ從  
ヒテ、言葉ハ訛リモ出デ、便利ニモ就ク故時ニ由  
リテハ、本ノ音ト違ヒテ響クトアリ、比へバ、人ハ  
萬物ノ靈ナリト云フ文ノハ、本ノ音ヲ失ヒテ、  
口ト響クガ如シ、然レ共文字ニ書クニハ、昔ヨリ  
ノ法ニ從ヒテ、必ハト書クベキトナリ、此ノ類言

葉中ニ甚多キ故、之ヲ違へザル様ニ、氣ヲ付ケテ  
覺ユベシ、今其ノ一二ヲ擧ゲテ、之ヲ示スベシ、  
イ、斗ヒノ音、兔角誤リ易シ、比へバ、擢ヲカヒ、鳥居  
ヲトリイト書クガ如シ、  
ハ、ワノ音亦然リ、比へバ、響ヲクツハ、瓦ヲカワラ  
ト書クガ如シ、  
ホ、ヲオノ音亦然リ、比へバ、顔ヲカラ、鴛鴦ヲホシ、  
帯ヲビト書クガ如シ、  
ヘ、エノ音、亦混シ易シ、比へバ、家ヲイエ、枝ヲエ  
グ、繪ノ具ヲエノ具ト書クガ如シ、

シノ音亦然リ、比へバモミ紅葉ヲモミシ、ヒ雉ヲキダ  
ト書クガ如シ、

ハズノ音亦然リ、比へバウ鴉ヲウスラ、ネ鼠ヲ子ヅミ  
ト書クガ如シ、

右ノ外、働キニ用フル言葉ノ終リハ、尤氣ヲ付ケ  
テ知ルバキナリ、比へバウ笑フヲウト書キ、

消エヲキヘト書クガ如シ、  
漢語ハ、漢土ノ文字ヲ音讀ニシテ、日本ノ言葉

ト同様ニ用フル者ナルガ、其ノ音モ、假名ニテ綴  
ルハ、皆極リアルナリ、比へバガク學校ノ校ハ、コ

ウト書ク音ニ非ズ、モ文字ノ字ハ、シデト書ク音ニ非  
ザルガ如シ、是亦心ヲ用フマキナリ、

漢字ノ用ヒ

○日本ノ言葉ヲ、假名ニテ綴ルハ、或ハ唯一ノ  
言葉ニテモ幾字モ用ヒザレバ、書キ載スルナ能  
ハザル者アリ、然ルニ漢土ノ文字入り来リタル  
中、シ神ト云フ音ノ字ニハ、其ノ意味ニ由リテ、日本  
ノカミト云フ言葉ヲ付ケ、シ人ト云フ音ノ字ニハ、  
ヒト、云フ言葉ヲ付ケ、其ノ他総マテノ漢字ニ、  
皆斯クノ如ク言葉ヲ付ケテ、遂ニ文字ノ形ヲ目

當テニ、之ヲ訓讀シテ、一々假名ヲ用ヒザル習ハ  
 ヒト為リタリ、是ハ數多ノ假名ヲ用フルヨリ、餘  
 程便利ナル所アルヲ以ナリ、然レ共言葉ノ都合  
 ニ由リテ、間ニ假名ヲ加ヘザレバ、其ノ意味充分  
 ニ通ゼザル故、遂ニ兩ナガラ雜ヘ用フルトナ  
 リタリ、

○言語論

名詞

○名詞ハ、物ヤ事ノ名目ニシテ、文章ノ中ニテ、常  
 ニ本トナル者ナリ、即天地日月海山人畜草木鳥

普通名詞

虫ヨリ、善惡、貧富、賢愚、喜怒ニ至ル迄、凡名目ヲ立  
 テタル者ハ、皆之ヲ名詞ト云フ、其ノ中三種ノ差  
 別アリ、一ヲ普通名詞ト云ヒ、一ヲ固有名詞ト云  
 ヒ、一ヲ無形名詞ト云フ、

○普通名詞ハ、物ノ一類ニ就キテ付ケタル名目  
 ナリ、比ハ、草ト云ヒ、木ト云ヒ、鳥ト云ヒ、虫ト云  
 ヘバ、何レノ草木ニモ、何レノ鳥虫ニモ、通用スル  
 名目ニシテ、普通名詞ナリ、是ヨリ一段小分ケシ  
 ヲ、菊ト云ヒ、萩ト云ヒ、松ト云ヒ、梅ト云ヒ、鶴雁蛇  
 蛙ト云フモ、是又何レノ菊、萩、松、梅、鶴、雁、蛇、蛙ニモ

固有名詞

通用スル名目ナレハ、又普通名詞トスルナリ、  
 ○固有名詞ハ、同類中ノ一物ニ限リテ付ケタル  
 名目ナリ、比ハ、巴國ニ就キテ云ヘバ、日本支那英  
吉利ノ類日本内ノ國ニ就キテ云ヘバ、山城大和  
河内ノ類、府縣ニ就キテ云ヘバ、東京府神奈川縣  
ノ類、山川ニ就キテ云ヘバ、富士山利根川ノ類、其  
 ノ外、人ニ就キテ云ヘバ、義經辨慶ノ類、松ニ就キ  
 テ云ヘバ、唐崎松ノ類、劍ニ就キテ云ヘバ、草薙劍  
 ノ類ノ如ク、何レモ唯其ノ一物ニ付ケタル名目  
 ニシテ、同類中ニテモ、外ニ通用セザル者ナレバ、

無形名詞

之ヲ固有名詞ト云フナリ、  
 ○無形名詞ハ、仕業ヤ理窟ノ上ニテ、其ノ名目ア  
 レ共、外ノ品物ノ様ニ、形ヲ持タヌ者ヲ云フ、即春  
夏秋冬、東西南北、及ビ信義親愛ノ類ヲ云フ、  
 ○前ニ掲ゲタル、三種ノ名詞ニ、何レモ数ト云フ  
 一アリ、其ノ数ニ又二ノ差別アリ、一ヲ單数ト云  
 フ、一ヲ複数ト云フ、  
 單数トハ、幾箇アル者ニテモ、唯其ノ内ノ一ヲ顯  
 スヲ云フ、複数トハ、二ヨリ以上ノ物ヲ、一所ニ合  
 ハセテ顯スヲ云フ、日本ニテハ、是ハ單數是ハ複

數

数ト、別ニ文字ヲ分ツトハ無ケレ共、前後ノ文章  
 ノ様子ヤ、別ニ言葉ヲ添フルト杯ニテ、其ノ複数  
 ナルヲヲ顯スナリ、比へバ、地球ノ表面ニ縦横ノ  
 線アリト云フ文ノ線ハ、上ニ縦横ト云フ言葉ア  
 ルヲ以、複数ナルト明ナリ、經線ハ皆南北ノ極ヨ  
 リ引キ出シタル圓ナルヲ以ト云フ文ノ經線ハ、  
 下ニ皆ト云フ言葉アルヲ以、亦複数ナルト明ナ  
 リ、此ノ見等ハ學校ニ行クヲ樂ミト思ヘリヤト  
 云フ文ノ見ハ、別ニ等ト云フ言葉ヲ添ヘタルニ  
 テ、是亦明ニ複数タルトヲ知ルナリ、其ノ外、山々

性

川々人々ノ如ク、重子タル言葉ニテ、複数ヲ顯ス  
 トモアルナリ、  
 ○名詞ノ中、人ニ就キタル言葉ニハ、性ト云フ  
 アリ、其ノ性ニ男性女性ノ二アリ、  
 ○男性トハ、天子親王ヨリ、殿ト云ヒ、息ト云ヒ、夫  
 ト云ヒ、婿ト云ヒ、下男ト云フ如ク、總ベテ男ニ就  
 キタル言葉ヲ云フ、  
 ○女性トハ、皇后皇女ヨリ、奥ト云ヒ、娘ト云ヒ、妻  
 ト云ヒ、嫁ト云ヒ、下女ト云フ如ク、總ベテ女ニ就  
 キタル言葉ヲ云フ、

動詞状

○動詞ニ作リタル言葉ヲ、其ノ儘名詞ニ用フル  
 一アリ、之ヲ動詞状ノ名詞ト云フ、比ハバ讀  
 云フモ、書キト云フモ、富ミト云フモ、本ハ動詞ナ  
 レ共、讀ミ書キノ外ハ算術ヲ學ブベシト云フ文  
 ノ讀ミ書キ、及ビ家業ヲ勵メハ富ミヲ致ス。ト云  
 フ文ノ富ミ採ハ、皆名詞トシテ用ヒタルナリ、  
 ○異體ノ言葉ヲ以、稀ニ名詞トスルコトアリ、即再  
 歸リ來ルベキカ又其ノ儘ニ飛ビ去ルカト云フ  
 文ノ儘ト云フ言葉、及ビ彼ノ子ハ彼ノ小女ノ為  
 ニ親切ナリヤト云フ文ノ為ト云フ言葉ノ如キ

異體ノ名詞

合成名詞

是ナリ、是等ハ何處ヘ用ヒテモ、必名詞ト云フ譯  
 ニハアラ子共、前ニ掲ゲタル文ノ如クニ、用ヒタ  
 ルキハ、必名詞トナスベキナリ、  
 ○種々ノ言葉ヲ合ハセテ、一ノ名詞ト為シタル  
 者ヲ、合成名詞ト云フ、比ハバ手習ヒト云フハ手  
 ト云フ言葉ト、習ヒト云フ言葉トヲ合ハセテ、一  
 ノ言葉トナレタル者、綿入レト云フハ、綿ト云フ  
 言葉ト、入レト云フ言葉トヲ合ハセテ、一ノ言葉  
 トナレタル者、其ノ外、書名ノ小學讀本、地理初歩、  
 地名ノ磨針峠、親知ラズ、器械ノ顯微鏡、蒸氣車ノ

類モ、皆種々ノ言葉ヲ合ハセタル者ナレ共、其ノ物其ノ處ノ名トナス上ハ、引キ括リテ、一ノ名詞トスルナリ、又熟語ノ運動今年養生ノ類モ、此ノ例ニ從フテ、別ニ其ノ言葉ヲ分タズ、亦一ノ名詞ト見做スベキナリ、

### 代名詞

○代名詞ハ、人又ハ物事ノ名ノ代リニ用フル者ニシテ、自分ノ名ノ代リニ吾ト云ヒ、相手ノ名ノ代リニ汝ト云ヒ、他人ノ名ノ代リニ彼ト云ヒ、事ヤ物ヲ指シテ、是ト云ヒ、其ト云フ類ナリ、比ハバ

神武天皇ノ吾將ニ東征シテ都ヲ中州ニ定メト宣フ中ハ、吾ト云フハ、神武天皇ガ、自御名ノ代リニ用ヒ給フ者、又馬子病ノ為ニ佛ニ禱ラントテ請フ天皇乃勅シテ曰ハク汝獨是ヲ為ヨト云フ文ハ、汝ト云フハ、敏達天皇ガ、相手ノ馬子ノ名ノ代リニ用ヒラレ、是ト云フハ、前ノ佛ニ禱ラント云フ事柄ノ代リニ用ヒラレタル如キノ類ナリ、此ノ代名詞ト云フ者ハ、話シノ上ニテモ、文章ノ上ニテモ、誠ニ便利ナル者ナリ、今其ノ種類ヲ分チテ三種トス、則人代名詞普通代名詞疑問代名

詞等ナリ、

人代名詞

○人代名詞ハ、總ベテ人ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、其ノ中ニ二ノ差別アリ、一ヲ真称代名詞ト云ヒ、一ヲ假称代名詞ト云フ、

真称代名詞

○真称代名詞ハ、言葉ヲ作りタル初メヨリ、真人ノ名ノ代リトシテ、**捧**ヘタル者ヲ云フ、即**吾**、**汝**、**彼**等ノ類ナリ、

天子ガ自**朕**ト宣フモ、下々ヨリ天子ヲ**陛下**ト呼ブモ、又ハ我々ガ相互ニ**拙**者ト称シ、**足下**ト呼ブ類モ、初メヨリ代名詞ニ作りタル言葉ナレバ、亦

真称代名詞トスルナリ、

假称代名詞

○假称代名詞ハ、其ノ言葉ヲ造リタル初メ、代名詞ニ用ヒタルニハ非ザリシカ共、年ヲ経ルニ從ヒテ、代名詞ニモ假リ用フル様ニナリタル者ヲ云フ、即**僕**ト云フハ、奴僕ノトナルヲ、假リテ**吾**ノ場所ニモ用ヒ、**君**ト云フハ、君主ノトナルヲ、假リテ**汝**ノ場所ニモ用フル類ナリ、其ノ外、**臣**ト云ヒ、**妾**ト云ヒ、**私**ト云ヒ、**那**方ト云フモ、皆此ノ例ト知ルベシ、

○人代名詞ニハ、必三ノ所有スル者アリ、則人稱



人称

ト数ト性トノ三ナリ、

○人称ニ又三ノ別チアリ、第一一人称、第二二人称、第三三人称、

一人称トハ、自分ノ名ノ代リニ用ウル者ヲ云フ、二人称トハ、自分ノ相手ノ名ノ代リニ用ウル者ヲ云フ、三人称トハ、自分ト相手ノ外ナル人ノ名ノ代リニ用ウル者ヲ云フ、即我ハ馬ニ乗ルトヲ好メリト云フ文ノ我ハ、一人称、汝ハ馬ニ乗ルトヲ好ムカト云フ文ノ汝ハ、二人称、彼ノ如ク疾ク乗ルトヲ好マスト云フ文ノ彼ハ、三人称ナリ、此

数

性

ノ外ノ人代名詞モ、皆此ノ例ナリ、

是其ヲ人代名詞トシテ遣フハ、一人称ノ是ヲ、時トシテハ二人称ニモ、三人称ニモ用ヒ、二人称ノ其ヲ三人称ニモ用ウ、即是ハ何物ゾ、是ニ尋ヌベシ、其ニ問フベシ、等ノ如シ、

○人代名詞ノ数モ、名詞ノ如ク単複ノ差別アレ共、大抵ハ等供達等ノ言葉ヲ添ヘテ、複数ヲ顕ストニテ、前後ノ文章ノ様子ニテ顕ストハ、至リテ稀ナリ、

○人代名詞ノ性ハ、男性・女性・通性ノ三分ツ、是

ハ、真称・假称ニ拘ラス、男ニノミ用ウル僕ノ如キ  
 ハ、男性トシ、女ニノミ用ウル妾ノ如キハ、女性ト  
 シ、男ニモ女ニモ通シテ用ウル余・汝・是・其ノ如キ  
 ハ、通性トス、

人稱及ビ性ノ圖

一 人 稱			
普	假	真	
	僕 <small>ボク</small>	某 <small>ソノカミ</small>	男性
	妾 <small>メカ</small>		女性
	私 <small>シ</small>	余 <small>ワタシ</small> 余 <small>カレ</small> 已 <small>ナシ</small>	通性
是	是	是	

普通代名詞

二 人 稱			三 人 稱		
普	假	真	普	假	真
					足下
					汝 <small>ナニ</small> 汝 <small>カレ</small>
是	彼 <small>カ</small>	是	是	君 <small>キミ</small> 那 <small>ナ</small> 方 <small>カタ</small>	
是	彼 <small>カ</small>	是	是	其 <small>カレ</small>	
是	他 <small>カ</small>	是	是	其 <small>カレ</small>	
是	其 <small>カレ</small>	是	是	其 <small>カレ</small>	

○普通代名詞ハ、ハ・コ・コレ・ソ・ソレ・カ・カレ・ア・アル等  
 ナリ、是ハ人ニモ物ニモ、又ハ事ニモ、通ジテ代  
 用ウル者ナルガ故、普通代名詞ト云フナリ、是ヲ

物事ノ代リニ用ヰルハ、即是ハ金其ハ銀他ハ鉛  
及ビ虚言ノ悪キ事ハ屢之ヲ聞ケリ等ノ如シ、  
普通代名詞ヲ事物ニ用フルキハ、別ニ人稱ヤ性  
ノ如キ差別ハナケレ共、唯數ノミアルナリ、尤是  
ハ名詞ノ數ノ如ク、前後ノ文章カ、又ハ外ニ等ノ  
字杯ヲ添フルトニテ、之ヲ頭スナリ、即鏡奎ヲ鳥  
羽ニ迎ヘテ是ヲ温明殿ニ安シズト云フ文ノ是  
ハ、上ニ鏡ト奎トノニアルヲ以、複數タルトヲ知  
ルナリ、

○是其彼ニ後詞ノ以、ヲ添ヘテ是ノ其ノ彼ノト

名詞状ノ代名

遣フキ、上ヲ指ストモアリ、又ハ下ヲ指ストモア  
ルナリ、即此ノ鳥ハ其ノ性水上ニ泳グトヲ好メ  
リト云フ文ノ、此ノ其ノハ、何レモ鳥ヲ指ス言葉  
ナレ共、一ハ上ヨリ下ヲ指シ、一ハ下ヨリ上ヲ指  
スノ違ヒアルナリ、此ノ上ヲ指ス者ハ、全ク代名  
詞ナレ共、下ヲ指ス者ハ、形容詞ノ形アルヲ以、代  
名詞状ノ形容詞トスルナリ、

○代名詞中ニ、一種名詞状ノ代名詞ト云フアリ、  
即前後ニ攀グル事物ノ代リニ、右ノ通り左ノ通  
リ杯ト用フル類ナリ、是ハ元來名詞ナレ共、姑假

七

疑問代名詞

リテ代名詞トスルナリ、

○疑問代名詞ハ、人ニテモ、事物ニテモ、明ニ定メテ言ヒ難キ者ニ用フル言葉ナリ、即狼來レリ誰カ出テ、救ヒ給ヘ、又此ノ小兒ハ何ノ書ヲ讀ムルヤ等ノ文ハ、誰何ノ如キ類ヲ云フナリ、

○代名詞中此方其方那方、杯ト云フ類ハ、一躰此ノ方其ノ方、那ノ方ト云フトニテ、他ノ言葉ヲ付ケ合ハセタル者ナレ共、一ノ言葉トシテ用フル上ハ、則合成代名詞トスルナリ、

形容詞

合成代名詞

語尾ニ

○形容詞ハ、大抵名詞ノ上又ハ下ニ在ルカ、或ハ外ノ言葉ヲ隔テ、其ノ物事ノ大小長短輕重善惡杯ノ有リ様ヲ、精ク顯ス者ナリ、又時ニ由リテハ、代名詞ヲ形容スルトモアリ、即賢キ人聲ヲ動ト揚グル、余慨然トシテ等ノ如キ

○形容詞ノ状ニ、三ノ種類アリ、第一語尾ニキラ含ミタル者、第二外ノ詞ヲ履ム者、第三形ヲ變ゼザル者、

○第一語尾ニキラ含ミタル者トハ、即善キ小兒、惡キ小兒、淺キ川、深キ川、樂キ事、美キ花等ノ如キ

外ノ詞  
ヲ履ハ  
形容詞

○第二外ノ詞ヲ履ム者トハ、其ノ言葉ノ下ニ、助  
動詞ノ、タリ・タル・ナル、又ハ後詞ノ、ヲ添ヘテ意  
味ヲ顯ス者ナリ、

タリ・タル・ヲ添フル者トハ、即人心駭然タリ、渺茫  
タル沙漠、古ノキタル家等ノ類ナリ、

ナルヲ添フル者トハ、愚ナル人、暖ナル日、柔和ナ  
ル馬等ノ類ナリ、

ノヲ添フル者トハ、廣漠ノ荒原、夢ノ世等ノ類ナ  
リ、

者トハ、添フル者トハ、形容詞トナル者トナラザル  
武藏ノ荒原、世ト云フハ、武藏ノ世ト云フヲ  
形容詞ニ非ズ、此ノ別ナリ、ト云フハ、武藏ノ世ト云フヲ

形ヲ變  
ゼザル  
形容詞

キト輕キト、實ナルト虚ナルトニ  
在リ、能ク心ヲ付ケテ察スマシ、

○第三形ヲ變ゼザル者トハ、即巉巖突兀、風蕭々  
等ノ類ナリ、是ハ語尾ヲ變化スルデモ無ク、外ノ

詞ヲ履ムデモ無ク、其ノ儘ニテ、直ニ形容詞トナ  
ル者ナリ、

右三法ノ内、形容詞ヲ二重子テ、青、白、キ、色、高、ク、大  
ナル山、杯ト用フルヲアリ、此ノ上ノ形容詞ノ語

尾ヲ、青、キ、高、キ、ト云ハザル者ハ、下ノ白、キ、ト、大、ナ  
ル、トヘ續クル、言葉ノ都合宜シカラザレバナリ、

其ノ他之ヲ推シテ知ルマシ、

數形容詞

○凡形容詞之ヲ分チテ三種トス、一ヲ數形容詞トシ、一ヲ尊稱形容詞トシ、又一ヲ一般形容詞トス、

○數形容詞ハ、物ノ數ヲ形ス者ナリ、之ニ基数序數ノ二アリ、

○基数ニ又二ノ差別アリ、一ヲ定數ト云ヒ、一ヲ不定數ト云フ、

○定數トハ、一・二・三・四・ヨリ、百・千・萬・億ニ至ル迄ノ數ヲ以形容スルヲ云フ、即六十間一町等ノ如シ、數ハ、時ニ由リテ、動詞又ハ副詞ヲ形容スルトア

リ、即之ヲ一統ス、一時ニ來ル等ノ如シ、

數ハ、何レモ形容詞ナレ共、一・一ガ一・一ニガ二ト云フ如ク、唯勘定ノ目錄ニノミ攀ダル類ハ、品物ノ數ヲ形容スルニ非ザレバ、皆名詞トスルナリ、

○不定數トハ、多キ人、寡キ机、數多ノ小兒、僅ノ書物ノ如ク、物ノ多少ニ拘ラズ、其ノ數ノ定ナラスキニ用フル者ヲ云フ、

名詞代名詞ノ複數ヲ顯ス為ニ用フル、友達、子供、彼等等ノ達、供等ノ類モ、亦不定數ト知ルベシ、

○序數トハ、物事ノ次第順序ヲ並バ立ツルキ、用

カ、ル数ヲ云フ、即第一、代、第二、代、三、番、四、番、卷、五、卷、六、等ノ如シ、是ハ基数ニ用フル数字ト、其ノ形少モ變ラ子共、第、番、卷、杯ノ名詞ニ添フテ、其ノ用ヒ方ヲ異ニスルナリ、分ケテ云ハバ、基数ハ物ノ數定スル為ノ數、序數ハ順ヲ立ツル為ノ數ト心得ベシ、

尊称形容詞

○尊称形容詞ハ、總ベテ言葉遣ヒヨ丁寧ニスルハ用フル者ナリ、即御簾、御祝、御殿等ノ如シ、此ノ言葉ハ、唯名詞ヲ形容スルノミナラス、外ノ言葉ヲ形容スルコトアリ、即御手前、御早ク、御讀ミナ

一般形容詞

サ、御勉強ナル事等ノ如シ、世間ノ人、女子ヲ呼ブモ、其ノ名ノ上ニ、オヲ添ヘテ、オ松、オ竹ト云フモ、元ハ敬フ意味ヨリ出デタル故、是亦尊称形容詞トスルナリ、○一般形容詞ハ、數形容詞ト、尊称形容詞トノ二ヲ取り除ケタル、其ノ外ノ形容詞ヲ云フナリ、○形容詞ハ、種々ノ言葉ヨリ、ナルノ等ヲ履ミテ之ヲ形ルコトアリ、即其ナル人ト云フハ、代名詞状ノ形容詞、口惜ノ事ト云フハ、動詞状ノ形容詞、何時ノ世ト云フハ、副詞状ノ形容詞ナリ、

外ノ形容詞

ナル者

合成形  
容詞

○形容詞ニモ、合成シタル言葉甚多シ、物憂キ時  
乘リ善キ馬ノ、物ハ名詞、乘リハ動詞ナレ共、憂キ  
善キト合シテ、熟語トナリタル上ハ、一ノ形容詞  
ト見做スベキナリ、

日本小文典卷之上

乗



日本小文典卷之下

動詞

中根淑著ス

○動詞ハ、働キヲナス言葉ニシテ、即視ル・聴ク・喜  
ブ・怒ル・往ク・来ル・取ル・遣ル等ノ如キ類ヲ云フ、凡  
話シニテモ、文章ニテモ、此ノ動詞ト云フ者ナキ  
ルハ、其ノ意味通ゼザル故、言葉ノ中ニ於キテ、至  
リテ肝要ナル者ナリ、  
動詞ノ中、種類甚多シ、即單用動詞・重用動詞・自動  
詞・他動詞・順動詞・逆動詞・規則動詞・不規則動詞及

單用動詞

ビ・助動詞・分詞・等ノ差別アリ、  
○單用動詞トハ、初メニ擧ゲタル・視ル・聴ク・ノ如ク、唯一言ニテ、其ノ働キヲ言ヒ盡クス者ヲ云フ、即・花ヲ視ル・話シヲ聴クト云ヘバ、唯一言ニテ、其ノ意味全ク盡クルガ如シ、

重用動詞

○重用動詞トハ、動詞ヲ重子テ用フルヲ云フ、即・花ヲ視盡クス・話シヲ打チ聴ク・ノ如シ、是ハ一ノ動詞ニテハ、其ノ意味ヲ盡サバル故、簡様ニ重子テ用ウルナリ、其ノ言葉ノ撰リ方ニ由リテハ、視盡クス勿レ・打チ聴ク能ハス・杯ト、三モ四モ、重ヌ

自動詞

ル・ナリ、

○自動詞トハ、其ノ言葉獨自働キラナシテ、外ノ言葉ニ、意味ヲ移サヌ者ヲ云フ、比ヘバ、彼ハ行クト云ヘバ、行クト云フ言葉、彼ノ働キヲ顯シタルノミニテ、別ニ外ノ言葉ニハ、移ラザルナリ、

他動詞

○他動詞トハ、其ノ言葉ノ意味上ノ幾言ニモ、通ジテ移ル者ヲ云フ、即・彼ハ學校ヘ行クト云ヘバ、行クト云フ言葉、彼ヨリ學校ヘ撰ケテ移リ、彼ハ吾ト學校ヘ行クト云ヘバ、彼ヨリ吾ト學校トヘ撰ケテ移ルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ他動詞ト云フ、

○動詞中我ヨリ働キ拭クル言葉ヲ順動詞ト云  
 ヒ、我が受ケ身ニナル言葉ヲ逆動詞ト云、即貞  
 時又久明親王ヲ廢ス其ノ子守邦王大將軍ニ任  
 セラルト云フ文ノ廢スト云フ動詞ハ貞時ガ久  
 明親王ヘ、働キ拭クル故順動詞ナリ、任セラル  
 ト云フ動詞ハ、守邦王ガ受ケ身トナリテ、外ヨリ  
 任拭ケラル、故逆動詞ナリ、此ノ差別善ク察  
 スベシ、  
 人ヲ尊ム言葉遣ヒニハ、逆動詞ヲ順動詞ニ用フ  
 ルトアリ、目上ノ人ノ言ヒ出ストテ、仰セラル、

ト云フガ如シ、  
 ○規則動詞トハ、動詞ノ語尾ヲ種々ニ變スルニ、  
 定リタル規則アルヲ云フ、是ニ五ノ種類アリ、即  
 四段一段中二段下二段三段等ノ働キノ差別アリ、  
 委キトハ、下ノ圖ヲ見テ知ルベシ、

飽	カ	働	四段ノ働キハ、
押	キ	ノ働キノ圖	其ノ語尾ヲ、縦
打	ク	行中ノ四段ニ	變ズ、一段ノ働
	ケ	キハ、外ノ段ヘ	

キ働

キ働ノ段一

起 釣 住 逢

ハ  
マ  
ミ  
ム  
ノ  
ヘ

居 見 干 似 著 射

リ  
ル  
レ

變ゼズ、中二段  
ノ働キハ、縦行  
中ノ中二段ニ  
變ズ、其ノ餘ノ  
段モ、之ヲ推シ  
テ知ルベシ、  
茲ニ示シタル、  
飽ク、押ス、等ノ  
言葉ハ、唯例ニ  
擧ゲタルノミ

キ働ノ段二中

下

捨 瘦 受 得 率 舊 老 試 戀 落

キ  
リ  
イ  
ミ  
ヒ  
チ

ツ  
ス  
ク  
ウ  
ウ  
ル  
ユ  
ム  
フ  
ツ

テ  
セ  
ケ  
エ

ニテ、是ニ限リ  
タル譯ニハ非  
ズ、比ヘバ行ク  
ト云フ言葉モ、  
行カン、行キ、行  
ク、行ケト四段  
ニ働キ、益スト  
云フ言葉モ、益  
サン、益シ、益ス、  
益セト四段ニ

キ勸ノ段ニ

キ勸ノ段三

兼<sup>カ</sup> 辨<sup>ビ</sup> 譽<sup>ホ</sup> 消<sup>ホ</sup> 枯<sup>カ</sup> 饑<sup>カ</sup>

為<sup>ス</sup> 約<sup>ス</sup>

又 子 又 子 又 子 又 子 又 子

働クが如シ、外ノ段ノ言葉モ、皆此ノ通りナリ、三段ノ働キハ、唯一ノ為<sup>ス</sup>ノ字ノ變化ト、漢語トニ、限ル<sup>ル</sup>トナリ、元來漢語ニ

シ ス キ

ノ變化ト、漢語トニ、限ル<sup>ル</sup>トナリ、元來漢語ニ

不規則動詞

ハ、シ・ス・セ・フ添ヘガレバ、動詞トナラザル故、之ヲ着ケタル儘、一ノ言葉トスルナリ、或ハ文章ノ模様ニ由リテ、之ヲ略ス<sup>ル</sup>トモアリ、縦横奮撃之ヲ破ル<sup>ル</sup>ト云フ文ノ奮撃ハ、動詞ナレ共、語尾ヲ略スルガ如シ、約ノ字ハ、漢語ノ例ニ擧ゲタル者ナリ、何レノ段ニテモ、語尾ヲ濁ル言葉ハ、其ノ變化モ、皆濁ルナリ、閉<sup>ヅ</sup>・閉<sup>ヅ</sup>・續<sup>ギ</sup>・續<sup>ギ</sup>・感<sup>ジ</sup>・感<sup>ジ</sup>・等ノ如シ、

○不規則動詞トハ、總ベテ前ニ擧ゲタル規則動詞ノ圖ニ當ラズ言葉ヲ云フ、即來<sup>ハ</sup>・來<sup>ク</sup>・來<sup>ト</sup>中ニ

段ノ外、別ニ来トモ變ズル故、不規則動詞ナリ、此ノ類ノ言葉ハ、外ニハ無キナリ、  
シヲ語尾ニ持チタル、善シ、惡シ、強シ、弱シ、高シ、低シ、等ノ言葉モ、不規則動詞ナリ、此ノ言葉ハ、必加縦行ノ變化ヲモスルナリ、即善キ、善ク、惡キ、惡ク、等ノ如シ、

又シヲ語尾ニ持チタル、嬉、悲、樂、苦、等ノ言葉モ、不規則動詞ナリ、此ノ言葉ハ、必別ニ加縦行ノ變化ヲスルナリ、即嬉キ、嬉ク、悲キ、悲ク、等ノ如シ、  
右兩様ノ動詞、如縦行採ノ變化ヲナスルハ、規則

助動詞

動詞ナリ、然レ共シヲ以終ルキハ、一種異リタル形ノ動詞故、不規則動詞トスルナリ、  
○助動詞ハ、大抵動詞ノ後ニ添フテ、其ノ意味ノ足ラス所ヲ、十分ニスル者ナリ、比ヘバ、流サ、流レト云ヒタル計リニテハ、其ノ意味未足ラス、之ニ流サシ、流レリト、助動詞ヲ添フルキハ、其ノ意味全ク足ルナリ、此ノ助動詞ニ、時ト云フナリ、即過去、現在、未來ナリ、  
○過去トハ、最早過ぎ去リタル時ヲ顯スラ云フ、之ニ充分ト不充分トノ別チアリ、充分過去トハ、

過去

現在

其ノ時既過ギ去リテ、遠キ前ノトナリタルヲ云フ、即昔ハ學校鮮クアリシノ如シ、不充分過去トハ、其ノ事前ニ在レ共、全クハ過ギ去ラヌ者ヲ云フ、即近頃數多ノ學校ヲ建テリノ如シ、  
 ○現在トハ、今為ス時ヲ顯スヲ云フ、之ニ亦充分現在ト云フアリ、是ハ其ノ事今僅ニ終ルヲ云フ、即余書ヲ讀ミ了リタリノ如シ、其ノ充分ナラザル者ハ、今丁度之ヲ為スヲ云フ、即余書ヲ見ルノ如シ、扱此ノ時ヲ顯ス言葉ハ、何レモ助動詞ヲ假ルトナレ共、唯現在ノ動詞ノミハ、之ヲ假ル者ト、

未来

假ラヌ者トアリ、比へ、飽キ・飽ク・飽ケ・約シ・約ス・約セノ如ク、如何程語尾ヲ變化シテモ、意味ニ於キテ充分ナルトハ、別ニ助動詞ヲ用ヒズ、落ツル・試ムル・約スルノ如ク、助動詞無ケレバ、其ノ意味充分ナラヌトハ、之ヲ添フルナリ、  
 ○未来トハ、今ヨリ後ノ時ヲ、前以顯スヲ云フ、是ニモ充分ト不充分トノ別チアリ、充分未来トハ、其ノ事全ク後ニ在リテ、他ノ時ニ関ラヌ者ヲ云フ、即余ハ明日讀マシノ如シ、不充分未来トハ、過去ノ事ニテモ、現在ノ事ニテモ、大方是ハ箇様ナ

去、事ニテモ、現在ノ事ニテモ、大方是ハ箇様ナ

ラント、推量スルヲ云フ、即彼ハ讀ミタラシノ如シ、

助動詞ノ圖

充分 過去		不充分 過去		充分 現在	
ケリ	ケル	キ	シ	ル	レ
タリ	タル	リ	ヌ	ラレ	ラク
ツ	ツル	ツ	ツレ	ラレ	ソ、
ナリ	ナレ	ナ	ナレ	ナラ	ナレ
タラン	ツラン				

助動詞ヲ重子タル、ナリケリタリシノ類ハ、上ノ言葉ハ、其ノ事柄ノ時ヲ示シ、下ノ言葉ハ、之ヲ語ル時ヲ示スナリ、例ハ、  
 行キタリシト

不成助動詞

充分 未來		不充分 未來		現在	
ナラ	ナレ	ナ	ナレ	ナラ	ナレ
タラン	ツラン				

云フハ、行キタリガ充分現在ナリ、其ノ行キタリヲ語ルニ付キテ、充分過去ノシヲ用

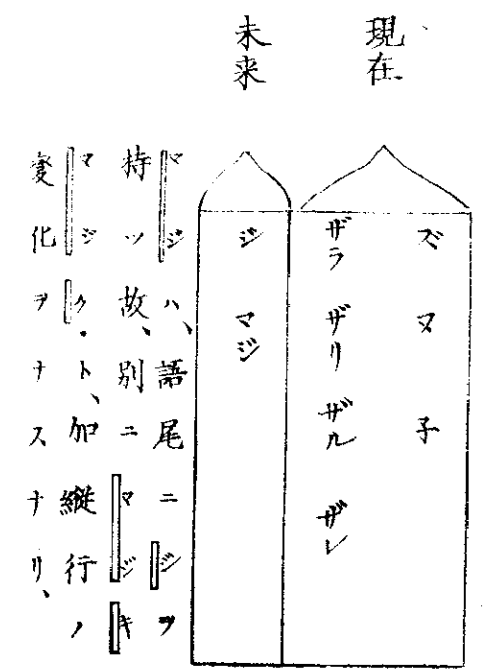
ヒタルナリ、其ノ外ノ言葉モ、皆此ノ例ナリ、  
 ○前ニ舉ゲタル助動詞ノ外、別ニ不成助動詞ト云フ者アリ、是ハ前ノ事ヲ打ち消シテ、成ミ遂ゲ又様ニスル言葉ニシテ、現在ト未來トノ時ヲ顯セリ、即見ズ、見ジノ如シ、若過去ヲ顯サントスル



普通助動詞

キハ、前ニ舉ゲタル 過去ノ助動詞ヲ添ヘテ、之ヲ示スナリ、即見ザリシノ如シ、

不成助動詞ノ圖



○助動詞及ビ不成助動詞ノ外、別ニ普通助動詞ト云フアリ、即吾カ

人カ見ルヤ見ザルヤ童ヨ學ベヨ

樂キカナ等ノカ

ヤヨカナノ如キ

半助動詞

助動詞ノ法

是ナリ、凡助動詞ハ、皆一ノ時ヲ持チタル者ナレ共、是ハ上ノ言葉ノ時ニ随ヒ、三時ニ通シテ用フルナリ、比ヘバ見シカト云ヘバ過去、見ルカト云ベバ現在、見ンカト云ヘバ、未来ナリガ如シ、

○助動詞ノ形ヲ具ヘタル言葉ニテ、助動詞ノ如ク外ノ言葉ノ後ニ就キテ、其ノ意味ヲ助ケ成ヌ者アリ、之ヲ半助動詞ト云フ、即視ル可シ、聽キ得ル言ヒ能フ、動カ使ム、等ノ類ナリ、

○助動詞ニハ、法ト云フ者アリ、是ハ過去現在未来ニ拘ラズ、其ノ言葉ノ属スベキ、定リアルヲ云ス

比へバ、命行クト云へバ、直ニ自來ノ行クトヲ顯シ、君行ケト云へバ、人ヲ勸メテ行カシムルトヲ顯スナリ、今此ノ類ヲ分チテ四法トス、即直說法・不成法・疑問法・命令法等ナリ、

直說法

○直說法ハ、其ノ儘ノ働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀メリ、字ヲ習フ、算ヲ學バン、等ノ如シ、

不成法

○不成法ハ、総マテ其ノ言葉ヲ打チ消ス働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀マザリキ、字ヲ學バズ、算ヲ學バザラン、等ノ如シ、其ノ他、讀マンヤト云フ反語ハ、不成法ナレ共、讀マザランヤト云フキハ、却

リテ讀ムトナル故、不成法ヲ持チタル直說法ナリ、

疑問法

○疑問法ハ、疑ハシキトヲ尋ヌル働キヲ顯ス者ナリ、即讀ムヤ、學バザルヤ、等ノ如シ、此ノ學バザルヤノ類ハ、不成法ヲ持チタル疑問法ナリ、

命令法

○命令法ハ、命マルトヤ、願フトヤ、又ハ戒ムルトヤ、働キヲ顯ス者ナリ、即讀ム、教ヘラレヨ、勉ムヤシ、等ノ如シ、又、忘レザルバシ、ノ如キハ、不成法ヲ持チタル命令法ト知ルベシ、

分詞

○分詞ハ、動詞ト同形リノ言葉ナリ、唯常ニ名詞

ノ上ニ在リテ之ヲ形容シ、半分ハ動詞ノ如ク、半分ハ形容詞ノ如クナル故、之ヲ分詞ト云フ、比ハバ、働ク時ハ勞ヲ厭ハズト云フ文ノ働クハ、動詞ナレ共時ト云フ名詞ヲ形容スルヲ以見レバ、形容詞ノ状モアルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ分詞ト云フナリ、

助動詞  
ヲ添へ  
ル分

○分詞ハ、助動詞ヲ添へタル儘、名詞ヲ形容スルト多シ、即知ラヌ事ハ知リタル人ニ問フヲ恥ヂズノ如シ、

成句分  
詞

○種々ノ言葉ヲ合ハセテ句トナシ、其ノ句ヲ以

合成  
詞

名詞ヲ形容スル者又成句分詞ト云フ、即陸地ノ間ヲ流ル、水ト云フ文ハ、唯流ルトト云フ言葉ノミガ水ト云フ名詞ニ掛ルノミナラズ、陸地ノ間ヲト云フ處ヨリ合ハセテ掛ルナリ、是等ノ類ヲ成句分詞ト云フ、

○動詞ノ上ニ、外ノ言葉ヲ持チタル者モ、熟語トナリタルハ、一ノ動詞ト見做スベシ、比ハ、氣遣フ、直諫ス等ノ氣ハ名詞、直ハ副詞ナレ共、何レモ下ノ動詞ト熟シテ、一語トナリタル者故、合成動詞トスルナリ、

副詞

○副詞ハ、大抵動詞ノ上ニ副フテ、動詞ノ様子ヲ細ニ顯ス者ニシテ、猶名詞ノ上ニ形容詞ヲ添フルガ如キ者ナリ、其ノ言葉ヲ細ニ分ツ中ハ、六ノ種類アリ、即作為地位時刻分量決定非否等ナリ、作為トハ、自然ニ為ルヲ、又ハ人ノ為スノ有リ様仕方ヲ云フ、即斬晴ル、善ク讀ム、何ゾ知ラン、等ノ如シ、是ノ何ゾハ、動詞ヲ強ク押ヘテ、及語トス、如シル者ニシテ、疑問代名詞ノ、疑ヒヲ問フ言自異ル地位トハ、其ノ場所ヲ云フ、即何レニ往ク、此處ニ至ル、等ノ如シ、時刻トハ、時ノ早サ遅サ

云フ、即何時及ビ、徐ニ速ニ、等ノ如シ、或ハ地位ノ、コハソコ、ス時刻ニ用フル、コト、ニ於キテ、ソコ、デ往ク、等ノ如シ、分量トハ、大サ小サ多サ寡サ、ヲ云フ、即大ニ喜ブ、甚身ニ、等ノ如シ、決定トハ、物事ヲ體ニ定ムル、ヲ云フ、即必為ス、誠ニ樂シ、等ノ如シ、非否トハ、否ミ嫌フ、ヲ云フ、即否否、等ノ如シ、

○副詞ハ、形容詞ト似タル者ニテ、唯其ノ語尾ト、添ソバキ言葉ト異ニス、其ノ類四アリ、第一形ヲ變ゼザル者、第二語尾ニクヲ持ツ者、第三後詞

形ヲ變  
ヤザル  
副詞

無尾  
ト持  
副詞

ニ添  
フ副  
詞

ノニヲ添フル者、第四動詞ヨリ變スル者

○形ヲ變ゼガル者トハ、初メヨリ副詞ニ作リタル言葉又、其ノ儘用ウル者ヲ云フ、即各廢唯殆、略頗、甚等ノ類ナリ、

○語尾ニクヲ持ツ者トハ、即善ク讀ム、惡ク書ク、淺ク掘ル、深ク浚フ、樂ク送ル、美ク咲ク等ノ如ク、

○後詞ノニヲ添フル者トハ、即愚ニ考フ、暖ニ照ラス、深和ニ言フ、等ノ如ク、

或ハ實ニ以ト云フヲ、實以ト云ヒ、縱横ニ奮撃スト云フヲ、縱横奮撃スト云フ如キハ、皆ニヲ略シ

初詞ヨ  
リ變ス  
ル副詞

タル者ナリ、

○動詞ヨリ變ズル者トハ、其ノ形ハ動詞ト同ク、共全ク副詞トシテ用フル者ヲ云フ、即行ク々々見ル、至リテ尊シ等ノ如ク、

右ノ外、最も多クハ、熟ト等ノ如ク、種々ノ後詞ヲ添ヘタル副詞アレ共、縱令之ヲ添ヘザルモ、副詞ニ相異ナキ者ナレバ、前ノ名詞ニニヲ添ヘテ、副詞トスルトハ異リテ、規則中ニハ非ザルナリ、

○凡副詞ニ二ノ差別アリ、之ヲ正用副詞變用副詞ト云フ、

○凡副詞ニ二ノ差別アリ、之ヲ正用副詞變用副詞ト云フ、

正用副詞

○正用副詞トハ、副詞ノ持子前ノ遣ヒ方ニテ、必  
動詞ノ上ニ添フテ、其ノ動詞ノ働キヲ、細ニ顕ス  
者ナリ、即會遇フ強ク撃ツ等ノ如シ、或ハ二三詞  
、越シテ、上ヨリ動詞ニ添フ者アリ、即深ク此ハ  
理ヲ知ルノ如シ、

非否ノ言葉ハ、外ノ副詞ト異リテ、動詞ノ上ニ添  
ハザレ共、是亦正用中ノ者トス、

變用副詞

○副詞ハ動詞ニ添フヲ以、當然トスレ共、中ニハ  
外ノ言葉ニ添フトアリ、之ヲ變用副詞ト云フ、即  
僅東ト云フハ名詞ニ添ヒタル者、正ニ是ト云フ

成句副詞

ハ代名詞ニ添ヒタル者、大ニ赤キ色ト云フハ、形  
容詞ニ添ヒタル者、正ニ且ト云フハ、接續詞ニ添  
ヒタル者、只正ニト云フハ、重子テ副詞ニ添ヒタ  
ル者ナリ、其ノ外蓋此ヲ謂フナリ、ノ類ハ、蓋ノ字  
下ノ全句ニ掛ル者ニシテ、亦變用副詞ナリ、

合成副詞

○一句ノ儘、動詞ニ添フ者ヲ、成句副詞ト云フ、即  
思ヒ寄ラズ逢フノ如キ類ナリ、是ハ思ヒ寄ラズ  
ト云フ、組ミ立テタル言葉ガ、其ノ儘逢フト云フ  
動詞ニ添フト故、一句ヲ以副詞ト見做スナリ、  
○副詞中、外ノ言葉ト熟シテ用フル者ヲ、合成副

詞ト云フ、即此處其處ノ如キモ、上ノ此其ハ代名  
詞、下ノ處ハ名詞ナリ、又心苦ク手輕クノ類モ、上  
ノ言葉ハ名詞ナレ共、何レモ合ハセテ一ノ副詞  
トスベキナリ、

後詞

○後詞ハ、名詞又ハ他ノ言葉ノ下ニ着キテ、種々  
ノ意味ヲ、細ニ顯ス者ナリ、日本ニテハ、話シニテ  
モ、文章ニテモ、此ノ後詞ト云フ者無キヤハ、少モ  
其ノ意ヲ通ズル能ハザルナリ、即海トハ兩陸ノ  
間ニ分マラタレ所ヲ云フトアル文ノトハ、ノニ

單用後詞

ヲノ類皆之ヲ後詞ト云フ、扱此ノ後詞ノ大切ナ  
ルヲハ、其ノ使ヒ方少ニテモ無理ナル所アレバ、  
全ク其ノ意味ヲ成サヌ故ナリ、比ヘバ、水ヲ器ニ  
入ルト云ヘバ、器ノ中へ水ヲ入ル、一、水ニ器ヲ  
入ルト云ヘバ、水ノ中ニ器ヲ入ル、一ニテ、唯ニ  
トヲトヲ置キ代ヘルノミニテ、其ノ意味全ク反  
對スルナリ、今之が種類ヲ分チテ二トス、一ヲ單  
用後詞ト云ヒ、一ヲ重用後詞ト云フ

○單用後詞トハ、唯一ノ言葉ニテ、其ノ意味ヲ充  
分盡クス者ヲ云フ、即ハ、バニヘトドヲガヨリガ

重用後詞

ナド・ナガラ・ノ・ノ・ミ・ヤ・マ・デ・コソ・テ・デ・モ・スラ・等ノ  
類ナリ、

○重用後詞トハ、唯一ノ言葉ノミニテハ、其ノ意  
味ヲ盡クサヌキ、之ヲ重子テ用フル者ヲ云フ、即  
ニハ、一ガニテニモトハトグトモトモヲバテハ  
テハヨリモマデモ等ノ如シ、其ノ三重子タルニ  
テハニテモマデニハトノミゾ等ノ如キモ、亦重  
用後詞ナリ、

○以上数多ノ後詞中、ハ・ド・テ・ト・四ハ、動詞ニノ  
ミ著ク者ナレバ、之ヲ動詞所屬ノ後詞ト云フ、其

動詞所屬ノ後詞

ノ直ニ外ノ言葉ニ著キタルハ、必動詞ヲ略シタ  
ル者ナリ、斯ク在リテ、ヲ・スクテト略スルガ如シ、  
○後詞ト普通助動詞トハ、似寄りタル者故、其ノ  
別チニ迷フ者ヲラン、然レ其後詞ハ、言葉ノ模様  
ヲ言ヒ起ス為ノ者、普通助動詞ハ、言葉ヲ結ブ為  
ノ者ナリ、但シ、シ・ガ・ノ・ハ・ニノ如キハ、稀ニ結ビノ場所  
ニモ置クトアレ共、矢張り後詞トスルナリ、  
○重用ノ後詞ハ、各其ノ言葉ノ意味ヲ持チタル  
者ナレ共、稀ニハトモ・ハ・ヤ・ノ如ク、少ク其ノ義理  
ノ變ルトヒアリ、又助動詞ト合シテ、カ・ハ・ノ如ク、



反語トナル者モアリ、

接續詞

○接續詞ハ、前後ニ在ル種々ノ言葉ヲ、結ビ付ク  
ル者ナリ、即充大ニシテ且明ナル、曉星又夕星ト  
云フノ類ノ如シ、其ノ言葉、大抵且而則但シ、諸猶  
又將等ナリ、

單用接  
續詞中  
用接續  
詞

○接續詞ニ、單用重用ノ別チアリ、前ニ舉ゲタル  
例ノ如キハ、唯一ノ言葉ヲ用ヒタル者故、單用ナ  
リ、且又將又ノ如ク、二ノ言葉ヲ重子テ用ヒタル  
者ハ、重用ナリ、

動詞状  
副詞状  
詞ノ接續

○及ビ並ビニ、如キ言葉ハ、動詞ノ形ヲ持チタ  
ル者故、動詞状ノ接續詞ナリ、故ニ透ニ、如キ言  
葉ハ、副詞ノ状ヲ持チタル者故、副詞状ノ接續詞  
ナリ、

合成接  
續詞

○而加之等ノ言葉ハ、其ノ書キタル漢字ヲ目當  
テニ、接續詞トナシテ、別ニ其ノ言葉ヲ分ツニ及  
バズ、是ノ故ニ、然レ共ノ如キハ、文字ニモ、種々ノ  
言葉ヲ書キ分クル程ナレバ、一ノ言葉ニハ、下ラ  
子共、何レモ前後ヲ結ビ付クル者ナレバ、合成接  
續詞トスルモ、妨ゲナキナリ、

感歎詞

○感歎詞ハ、話シヤ文章ノ間ニ於キテ、喜ビ怒リ  
哀ミ樂ミ驚キ畏レ等ノ聲ヲ、不意ニ投ゲ入ル、  
ヲ云フ、故ニ之ヲ間投詞トモ云フナリ、即イデ、イ  
ザ、オ、ハ、ア、等ノ如シ、其ノ外俗ニ用フル感歎詞  
ハ、誠ニ数多アリ、即ハア・ワア・オヤ等ノ類ナリ、  
○種々ノ言葉ヲ、一ニ合ハセテ、感歎詞トスルア  
リ、アヲ憾メシヤノ如シ、

以上名詞ヨリ感歎詞ニ至ル迄、八通りニ分チ  
タル言葉ヲ、八品詞ト云フ、此ノ八品詞ノ内、何

合成感  
歎詞

レニモ、拘リ合ヒアル言葉アリ、之ヲ下ニ掲グ

冠詞

○冠詞或ハ枕言葉共云フ、是ハ其ノ目指ス言葉  
ヲ、云ヒ出ヌ為ニ、上ニ置ク言葉ニシテ、其ノ中ニ  
重ナル意味アルニハ非ザルナリ、比ハ心ハ盤ハ破ハ  
ル神ノ世カク片ハ絲ハノ寄リ々々等ノ如シ、是ハ神ト云  
ハンガ為ニ、神ヲ賛ホハル言葉ヲ、前ニ置キ、寄リ々  
々ト云ハンガ為ニ、絲ヲ燃ルト云フ言葉ヲ假レ  
ルナリ、尤是ハ近キ躰ノ文ニハ用ヒザルナリ、

掛ケ言葉

○ 拙ク言葉ハ、其ノ言葉ノ外ニ、別ニ一ノ意味ヲ持タセタル者ナリ、即知ルモ知ラヌモ逢フト云フヨリ、其ノ逢フヲ假リテ、直ニ逢坂ノ關ト云ヒ美濃尾張ト云フ中ニ、身ノ終リト云フ意ヲ持タセタル類ナリ、是モ當時ハ、餘リ用ヒザルナリ、

複語

○ 複語ハ、重子言葉ナリ、名詞代名詞ノ山々、是ノ如キハ、皆複數ヲ顯ス為ニ用フルナリ、其ノ外早々、田リ田リ、又々、嗚呼々々ノ如キハ、唯意味ヲ強ムル為ニ用フルナリ、

熟語

○ 熟語ハ、前ニモ度々擧ゲタル如ク、二三ノ言葉ヲ合ハセタル者ナリ、比へバ形ト云フ言葉ト作ルト云フ言葉トヲ合ハセテ、形ルト云フ言葉トナシタル類ナリ、其ノ外無理・非道ノ類モ、音ニテ讀ム上ハ、熟シテ一ノ言葉ト見做スベシ、

○ 文章論

起語結語

○ 文章ハ、已ノ思フ所言フ所ヲ記ス者ニシテ、二三ノ言葉ヨリ、數萬ノ言葉ヲ合ハセタル者迄、總

ベテ之ヲ文章ト云フナリ、此ノ文章ニ、起語結語  
 ト云フコトアリ、起語トハ言ヒ起ス言葉、結語トハ  
 其ヲ止ムル言葉ナリ、比へバ、人ハ過ダト云フ文  
 ノ、人ハト云フハ、起ス言葉、過ダト云フハ、其ヲ止  
 ムル言葉ナリ、  
 此ノ起語ト、結語トニ、自然極リタル法アリテ、其  
 ノ言ヒ起シ方ニ由リ、結ビ方モ從フテ異ルナリ、  
 比へバ、人ハト起セバ、過ダト止ム、人ヤト起セバ、  
 過ダルト止ムルガ如シ、猶下ノ章ニ、其ノ謂ヲ説  
 カン、

第一節  
 二第  
 三起語

○起語ニハ、ハ、モ、徒、ゾ、ノ、ヤ、何、コソト云フ、ハノ言  
 葉遣ヒアリテ、結語ト睨ミ合フコトナリ、其ノ中ハ、  
 〔モ〕ガ、ノ、ヤ、コソ、ハ、皆後詞ナリ、後詞ハ、皆起語ナレ  
 〔ハ〕ノ、結語ト物リ合共、唯ハ、モ、ゾ、ノ、ヤ、コ  
 ヒアル者ト知ルマシ、徒トハ、人過ダト云フ如ク、  
 ハ其ト共ゾ共付ケヌヲ云フ、何トハ、誰カ如何ニ  
 ノ如ク、疑ヒノ意ヲ持テタル言葉ノ総名ニシテ、  
 誰カ過ダルト云フ様ナル類ナリ、  
 扱此ノハノ起語ヲ、部分ケスルモハ、第一ヲハ、モ、  
 徒トシ、第二ヲゾ、ノ、ヤ、何トシ、第三ヲコソトス、之  
 ヲ三條ニ分ツ所以ハ、其ノ結ビ言葉ニ、三ノ違ヒ

大、文、集  
 卷之十  
 三

ヲナスヲ以ナリ

○結ビ言葉ニ、三ノ違ヒアルト云フ謂ハ、取り擗  
ミテ云へバ、ハ・モ・徒ヲ結ハ言葉ハ、語尾ニ字横行  
ノ音ヲ持ツ者ナリ、人ハ過ダノ如シ、グノ・ヤ・何ヲ  
結ブ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニルヲ添ス人ヤ過ガ  
ル・ノ如シ、コソヲ結ブ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニル  
ヲ添ス人コソ過ダレノ如シ、猶下ノ圖ヲ見テ之  
ヲ覺ルベシ、

起語結語ノ圖

ハ モ 徒	ウ 植 得 ク	ク 來 過 ダ	ス 任 寄 ス	ツ 立 出 ツ	ヌ 尋 重 ヌ	フ 添 媚 フ	ム 止 詠 ム	ユ 見 聞 ユ	ル 乱 流 ル
グ ノ ヤ 何	ウル 得 植 ウ	クル 來 過 グ	スル 任 寄 ス	ツル 立 出 ツ	ヌル 尋 重 ヌ	フル 添 媚 フ	ムル 止 詠 ム	ユル 見 聞 ユ	ル 、 流 乱 ル
ユ ソ	ウ レ 得 植 ウ	ク レ 來 過 グ	ス レ 任 寄 ス	ツ レ 立 出 ツ	ヌ レ 尋 重 ヌ	フ レ 添 媚 フ	ム レ 止 詠 ム	ユ レ 見 聞 ユ	ル レ 、 流 乱 ル

ハ、モ、徒、  
ウ、植、得、ク、  
ク、來、過、ダ、  
ス、任、寄、ス、  
ツ、立、出、ツ、  
ヌ、尋、重、ヌ、  
フ、添、媚、フ、  
ム、止、詠、ム、  
ユ、見、聞、ユ、  
ル、乱、流、ル、

不成助動詞及此助動ノ外ノ助動詞ニ由リ起ル各變ズルヲニテノ結

能ハザル

ツ	ス	ク	シ	リ	キ	又	ツ	ズ	ウ
待打ツツ	假残スス	行書ケケ	嬉善シ	タ有リ	答問ヘヒキ	絶成エリヌ	思言ヒツ	替知ラズ	飢率ウ
能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル
能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル
能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル
能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル
能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル
能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル
能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル	能ハザル

一言葉ハ、葉ノ如ク、結ズ、儘ニ

轉語略語

フ	ムン	ル
思言フフ	帰住ラン	降突ル
尾言葉ハ、横語	行ニ變ジ	
へ	メ	レ
思言へへ	帰住ラメ	降契レレ

○轉語トハ、前ノ法ノ如ク、上ノ言葉ヲ結フベキ筈ナルニ、猶言ヒ足ラヌ所アル故、下へ移シ續クル言葉遣ヒナリ、比へバ、學校ニ出デ、ハ書物ヲ讀ミ又手習ヒスベシト云フ文ニテ云へバ、學校ニ出デ、ハ書物ヲ讀ムト結フベキヲ、下へ移ス

為ニ、讀ミト云フガ如シ、然レ共是ハ一度移シテ  
モ、二度移シテモ、必終リニ至リテ、之ヲ結ブナリ、  
即手習ヒスベシト結ベルガ如シ、

○略語トハ、上ノ言葉ヲ、助動詞ニテ結ブキ、或ハ  
之ヲ省キテ、用ヒザルヲ云フ、比ヘバ、遊歩ヲ為ス  
ハ運動ノ為ト云フ文ハ、運動ノ為ナリト結ブベ  
キヲ、略シタルガ如シ、

○起結轉略ノ謂、前ニ擧ゲタルガ如クナレ共、初  
學ノ覺リ易カラシム、為短キ文ヲ下ニ擧ゲテ、其ノ  
例ヲ知ラシム、

水氣ノ起多ク蒸騰シ轉テ大陽ノ光ニ映ズル結  
ナガラ時ハ起虹ト為ル結虹ニハ起其ノ色起ト  
轉マアリ、結上ハ起赤色ニシ轉テ次ヲ紺色トス、結黄  
色起之ニ次ギ、轉綠色起又之ニ次グ、結次ハ起青  
色、略次ハ起紺色、略次ハ起紫色ナリ、結

變格

○變格トハ、起語ト結語ト、前ノ法ノ如ク、睨ミ合  
ハザル者ヲ云フ、即ヤ何ノ起語ハ、何レモ第二ノ  
結語ニテ、結ブベキヲ、第一ノ結語ニテ結ブヲ云  
フ、比ヘバ、賜ヤ過ギタルト云フベキヲ、賜ヤ過ギ

タリト云ヒ、孰カ之ヲ命ズルト云フベキヲ、孰カ  
之ヲ命ズト云フガ如シ、

○音調論

緩急音

○緩トハ、言葉ヲ柔ク遣フナリ、即カニカキ筭ヲカウガ  
イ、書キテヲ書イテト云フガ如シ、急トハ、言葉ヲ  
強ク遣フナリ、即オシ涕ヲナンダ、取リテヲ取ツテ  
ト云フガ如シ、

曲直音

○言葉ヲ出スニ、同聲ニテモ、其ノ儘マカキ真直ニ出ス

ト、曲ゲテ出スナリ、即ハシ橋トサシ箸トシ銘トシ雨ノ如シ、

熟語音

○二三ノ言葉ヲ熟シテ、一言葉トナシタル者ハ、  
其ノ都合ニ由リテ、音ヲ濁リ、又ハ變ズルナリ、  
即オシ鬼カニ瓦カ日本ニッポン橋ト云ハズシテ、鬼ガハラ、日本ハシ  
ト濁リ、上書キ、雨アメ宿ヤドリ、新シン板ト云ハズシテ、ウハ書  
キ、アマ宿ヤドリ、新シンパント云フガ如シ、

漢字音

○漢字ニハ、一文字ニテ、漢音ト吳音トノ二ヲ持  
チタル者多クアリ、比ヒハ先生シヤウシヤウノ生シヤウハ漢音、養生シヤウシヤウ



ノ生ハ吳音、經書ノ經ハ漢音、佛經ノ經ハ吳音ナ  
ルガ如シ、

約音助音

○約音トハ、其ノ儘ニ遣フベキ言葉ヲ、或ハ縮ム、  
或ハ省クヲ云フ、聞キ度クアリシヲ、聞キ度カリ  
シト縮ム、持チテヲ、持テト省クガ如シ、助音トハ、  
二ノ言葉ノ間へ、意味ナキ聲ヲ、助ケ入ル、ヲ云  
フ、沖ツ波、頃シモ、無クンバ、等ノ如シ、此ノ言葉ハ、  
皆後詞ニ属スル者トス、

歌ノ調子

○歌ハ、文章ノ中ノ一端ニテ、其ノ言葉善ク調子  
ニ合フヲ第一トス、日本ノ言葉遣ヒニテハ、五文  
字ト七文字トノ句、善ク調子ニ合フナリ、故ニ  
歌ハ、五文字七文字五文字七文字七文字ト、都合  
三十一文字ニテ、作ルナリ、其ノ外長歌ニテモ、發  
句ニテモ、又ハ世間ニテ謠フ所ノ、流行謠ノ類ニ  
テモ、長キト短キトノ違ヒコソアレ、何レモ五文  
字ト、七文字トヲ以、句調ヲナスナリ、但シ稀ニハ  
字餘リトテ、五文字ヲ六文字トシ、七文字ヲ八文  
字トスルナリ、多クノ歌ニ就キテ、善ク々々マ考

へ見ルベシ、

日本小文典卷之下終り

社会科

社会

明治九年八月七日  
版權免許

著者 中根淑藏版

東京下谷仲徒士町  
四丁目三十二番地

東京馬喰町二丁目一番地

發兌書肆

本林屋治兵衛